

小塩江地区の魅力
たくさん見つけました！

小塩江地区の宝カード



宇津峰のムササビ
「げんき」くん

－ 分類 －

- ① ~ ③ 人物
- ① ~ ② 芸術文化
- ① ~ ② 史跡
- ① ~ ② 風景
- ① ~ ③ 動植物
- ① ~ ⑪ 信仰・祭礼
- ① ~ ② 暮らし

小塩江コミュニティセンター
Instagram



@OSHIOE_SUKAGAWA

小塩江地区の宝カード



— 分類 —

① ~ ③ 人物

地区にゆかりのある人物及び関連する事柄
(分野、時代は問わない。)

小塩江地区の宝カード



－ 分類 －

① ~ ② 芸術・文化

【民話・伝説】

地区に伝わる民話や伝説及びそれにまつわる
(由来する)場所やもの

【文学】

句碑、文学碑など

【美術工芸】

人形などの美術工芸品

1

「CCGA」今は昔…

宇津峰カントリークラブの入り口には白い建物があり、はて何だろうと思いましたが、実は美術館で、いろいろな美術展が開かれていました。主に、ポスター関係が多かったように記憶しています。大日本印刷がこんな田舎にと思うぐらいの建物と内容でした。現在はやっていないということで、大変残念です。

作成者：タカちゃん



ここがポイント！

須賀川市の博物館よりもおしゃれです。

2

芭蕉のみち

須賀川宿に泊まり、大東の田中の渡しをとおり、八流の滝をとおり、塩田地内の道（現在は草などが生い茂り、通ることは容易ではない）
外の内(とのうち)をとおり、守山への道



作成者：橋本公夫

小塩江地区の宝カード



— 分類 —

① ~ ② 史跡

古墳や昔の集落跡、城跡、館跡(やかたあと)など
(公園のうち「城跡」として挙げているものも含む)

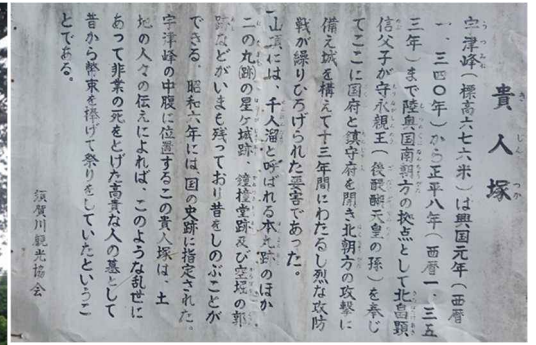
1

南北朝時代と貴人塚

西暦1340年～1353年まで、陸奥国南朝方の拠点として北畠顕信が守永親王を奉じて、国府と鎮守府としての宇津峰城を築いて北朝方の攻撃に備えた。

13年間にわたり壮烈な攻防戦が繰り広げられた要害だった。

1353年5月4日宇津峰城落城。



ここがポイント！

埋平集落の人々により600年以上の間、
貴人塚を守り信仰してきた。

作成者：かずひこ

2

網の輪城址

塩田川(大槻川)と小倉川の合流地の小高い所にあった、南北朝時代の城址。

川の合流先には、隊道があり、八流の滝がある。



作成者：橋本公夫

小塩江地区の宝カード



— 分類 —

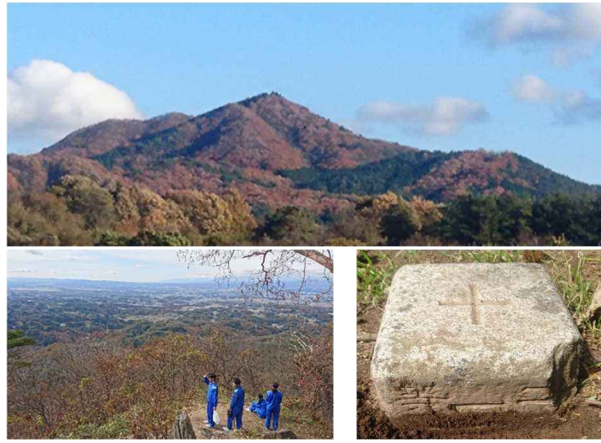
① ~ ② 風景

地区の特徴的な景色
(「○○からの眺め」「▲▲から見える景色」
など。昔の風景も含む)

1

宇津峰

小学校のとき、秋に宇津峰登山をしてその後地区分けされた組ごとに芋煮会を毎年実施していた。朝、リヤカーに鍋や材料を積んで組ごとに養蚕飼育所に集合（現在の梅林脇）登山後芋煮会。山頂には、測量に使用されていた二等三角点があります。市内には2箇所だと思ふ。



紅葉の宇津峰(上) 清水の手前に立つ県道終点(右)
山頂から左側奥が福島空港(左下) 山頂にある二等三角点(右下)



作成者：かずひこ

ここがポイント！

四季折々の宇津峰の姿、山頂からの眺め、歴史、草花などなど

2

定番の「宇津峰」！

小塩江と言えば「宇津峰」と言うぐらい、地域に密着した山（標高677メートル）として親しまれています。南北朝時代に南朝の拠点「宇津峰城」がおかれました。うつくしま百名山の一つに認定され、登山口は塩田口と谷田川口があり、どちらの登り口にも清水があります。山頂からは遠くを望むことができ、特に冬の木々の間からの眺めが好きです。

作成者：タカちゃん



ここがポイント！

苦勞して登った後、頂上で食べる塩おにぎりが最高です。

小塩江地区の宝カード



— 分類 —

① ~ ③ 動植物

動物・植物等

(寺社等の境内にある古木や大木の外、地区で著名な樹木なども含む。)

1

市民の森にひっそりと咲く ショウジョウバカマ

宇津峰の登山道を歩いていくと、ピンク色の可憐な花がたくさん咲いています。

頂上を目指して歩いていく私には「がんばってね」と、下山の重い足取りの私には「お疲れさま」と言ってくれるように感じます。

ここがポイント！

春の妖精と呼ばれるショウジョウバカマは、一つ一つよく見ると色の付き方に違いがあり自分好みの花を見つけてほしい。

作成者：かつみ



2

梅林公園 「梅香る、実りの園」

梅の満開時期に孫を連れて花見をしています。その時、同じく花見に訪れていた方も「まるで桃源郷のようですね」といっていました。

6月にはいろいろな種類の梅が実り収穫体験をしています。

持ち帰った果実は、梅酒や梅干し作りに挑戦、親戚に大好評です。

今では我が家の恒例行事となっています。

ここがポイント！

見てよし・香ってよし・食べてよし
「視覚、嗅覚、味覚」何度も楽しめる。

作成者：かつみ



3

質が硬く水分吸収が良い石 「江持石」(安山岩)

・江持石の使用がいつ始まったかについて、明確な年代記録は残されていません。しかし、須賀川石(すかがわいし)は、新生代新第三紀の地層に由来するため、地質的には数百万年前から存在していたと考えられます。

・建築や土木への利用が始まったのは、江戸時代から明治期以降と推定されます。特に明治20年代には、佐久間亀五郎による江持洞門の掘削を契機に、地域の石材への関心が高まった可能性があります。

・現代では、技能士会の競技石材として使用されるなど、加工のしやすさと美しさを兼ね備えた石材として知られています。

・塩田の菅船神社にある力石(太郎石・次郎石)も、安山岩系に由来する自然石と考えられています。

※新生代新第三紀とは、地質時代の区分のひとつで、約2,300万年前から約260万年前までの期間を指します。この時代には、日本列島の形成や類人猿の出現などが起こりました。



ここがポイント！

翠ヶ丘公園内の彫刻や、小塩江駅入口に設置された「ムササビげんきくん」が刻まれている石も、江持石が使用されています。近年では、かっぱ麺のどんぶりや焼肉用の石板など、日常の器具にも活用されており、加工性と風合いの良さが評価されています。

作成者：みっちゃん

小塩江地区の宝カード



－ 分類 －

① ～ ⑪ 信仰・祭礼

【伝統芸能】

自奉楽、神楽など

【祭り・伝統行事】

神社、仏閣で行われている祭礼(例大祭など)
地域で行われている伝統的な行事や年中行事
など

【石造物】

石仏や板碑など(句碑・文学碑は除く)

【社寺】

神社、寺院(お堂や仏堂を含む)

4

「墓目鹿島神社」のご利益は？

漢字ではなかなか読めず、「墓がえる」の字で覚えやすいです。「墓目鹿島神社」の秋の例大祭では弓射大会が行われます。奥州征伐の時代に墓目法で戦いの占いをしたことから奉納行事が続いています。なお、道路をはさんだ南側には、蠶（蚕）養神社があり、その階段の急なこと。昇るのも怖いですが、降りるのは無理なので、裏側から降りることをお勧めします。

ここがポイント！

墓目鹿島神社の御利益は、勝負運アップだそうです。

作成者：タカちゃん



5

江持洞門と羽黒神社

県道須賀川谷田川線沿い、江持字鐘突田（かねつきでん）にある羽黒池と羽黒神社。

そのすぐそばに、岩を削って造られた洞門（トンネル）がひっそりと佇んでいます。

洞門のすぐ隣には鳥居があり、くぐると急勾配の石段が続きます。

地域の方々は毎年12月31日の年の瀬に、このスリル満点の階段を一步一步登っていきます。険しい道の先にある祈りの場所は、地域の人々の心のよりどころとなっています。

作成者：みっちゃん



ここがポイント！

正面の鳥居をくぐると、羽黒神社へと続く急な石段が現れます。足元に気をつけながら一步一步登るその道は、まるで冒険のよう。スリル満点の階段を登りきった先には、静かに佇む神社が迎えてくれます。

6

江持 三十三観音 札所

ふくじゅいんじんぐうじ

「福寿院神宮寺」

天台宗の古刹(古刹とは、古い寺のこと)。

本堂の左手には静かに佇む観音堂があり、地域の人々に親しまれています。

このお寺は「仙道三十三観音霊場」の第33番札所。十一面観音が祀られ、参道の両側には石仏が並び、訪れる人をやさしく迎えてくれます。

地元の方々が当番制で、毎月一度清掃を行い、大切に守り続けているお寺です。

境内には、こんな句碑もあります：

よろづ世の 願いをここに 江持寺
参る心は 法のちからよ



ここがポイント！

須賀川市の仏教寺院 両側に石仏が並び、祈りの道境内には、無患子（むくろじ）の木があります。無患子は、石鱈の代用や羽根つきの玉に使われる実を持つ、縁起の良い落葉高木です。名前には「子が患わない」という意味が込められています。

作成者：みっちゃん

7

太々御神楽保存会

34座ある神楽は光(太陽が出る様)が世に出るまでの苦労を34座の舞の中で表す素敵な物語です。

天の岩戸が開き、村人が太陽の光を浴びて米作りができるという話です。

ここがポイント!

天の岩戸が開く前後の人々の喜びに至るまでの様子は必見です。



作成者：芳賀恭子

8

菅船神社秋祭り・力自慢

秋の例大祭(11月3日)に行われる行事の一つで、多くの力自慢が集まる。

太郎石の重さは、約7斗(約100kg)

次郎石の重さは、約2斗(約30kg)

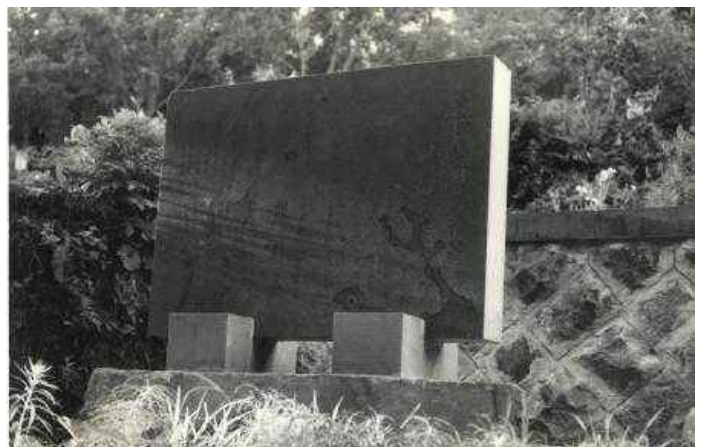


作成者：橋本公夫

9

義民・塩田文平翁碑

嘉永6年(1853年)旧岩瀬郡中17ヶ村は、高田藩釜子陣屋の支配を受け、私製の大枡を用い年貢米を不当に取り立てる私曲の藩吏がおり農民の困窮を救おうとする者は一人もいなかったが、塩田文平翁が不正を改めさせ、衆民の救済に力を尽くした。この高節をたたえて碑を建立する。



作成者：橋本公夫

10

2つの菅船神社

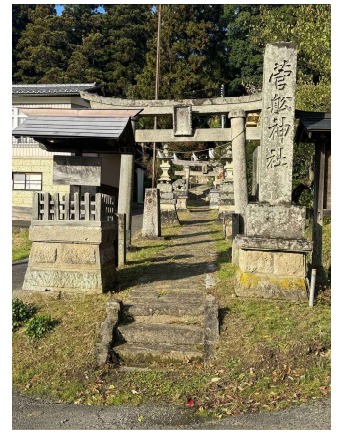
なぜ、塩田地区には、菅船神社という名の神社が2つあるのだろうかと思い調べました。

神社は塩田字神清水と外の内に鎮座しています。

祭神は、どちらの神社も猿田彦大神、天照大神、天太玉神を祀っている。普通なら、旧村に一社と思っていたのですが？

南北朝時代(1336年～1392年)には、神清水を上社、外の内を下社としていたが、明治に入ると一村一社制がとられ、神清水を村社とし、外の内を境外摂社とした。

現在はどちらも、菅船神社として宮司がおります。



ここがポイント！

神清水の神社は、太郎石、次郎石の力自慢大会
外の内の神社は、夏越祭御湯花行大祓

作成者：橋本公夫

11

小倉埋平地区の「道切り」

埋平地区の入口には道路を跨ぐようにしめ縄が張られています。これは、「道切り」とよばれる習俗で、疫病や悪い神などが集落に入らないようにする「結界」です。

「道切り」は埋平地区のように集落の境界にしめ縄を張るもののほか、わら人形やお札を置く例などがあるそうです。昔は多くの集落で行われたようですが、この習俗が残っているのは市内では埋平地区だけだと思います。

ここがポイント！

- ・縄を張って「バリア」する習俗が今でも残っていること。
- ・市内在住の羽田和功さんが福島県内の道切りについてまとめていること（「福島県内の「道切り」についての考察」令和6年）。



作成者：管野和博

小塩江地区の宝カード



－ 分類 －

① ~ ② 暮らし

【食】

キュウリ、果物などの農産物。かっぱ麺などの特産品や料理。

(菓子店やラーメン店など食を提供、製作する店舗も含む)

【風習・風俗】

昔から伝わっている因習、しきたり、ならわし、暮らし方

【イベント】

新興の祭り、イベントなど(地区の文化祭など)

【商業施設】

スーパーなど(商店街も含む)

【公共施設】

公園や駅、小学校や幼稚園など

1

ムササビげんきくん

平成13年（2001年）、当時の小塩江公民館の職員が、宇津峰に生息するムササビをモデルに発案・図案化し、誕生したのが「げんきくん」です。地域の方々がその図案をもとに、心を込めて衣装を手作りしてくださり、以来、げんきくんは小塩江のマスコットとして親しまれています。毎年4月29日の宇津峰山開きでは、げんきくんの衣装を身にまとい、笑顔で小塩江の魅力やPR。訪れる人々に元気と温かさを届けています。地域の自然と人の思いが詰まった、まさに小塩江の“宝もの”です。



●宇津峰のムササビ「げんき」くん



ここがポイント！
小塩江駅記念碑にもムササビげんきくんが描かれています。

作成者：みっちゃん

2

「水郡線」への思い♡

「水郡線」は、1934年（昭和9年）に水戸と郡山が全線開通し、昨年90周年を迎えました。赤字路線ながら、地元の大切な交通機関としてがんばっています。1両か2両編成で、上り下り合わせても1時間に1本程度なので、農作業の折りに時計代わりになっています。今の小塩江駅の駅舎は面白みがありませんが、昔の駅舎は木造で温かみを感じました。



ここがポイント！
春、苗が植えられたばかりの田んぼに、逆さに映る夜汽車はナイスです。

作成者：タカちゃん